

ヴェローチェエラ *Veloce Era*

牡 鹿毛 2021.3.5生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・合同会社TO RACING 栗東・須貝尚介厩舎
馬名意味・速い(伊) +時代(伊)

イブスウィッチIRE系 F9-I

リアルスティール 鹿毛 2012	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ラヴズオンリーミーUSA 鹿毛 2006	Storm Cat Monevassia
イブスウィッチIRE Ipswich 栗毛 2010	Danehill Dancer 鹿毛 1993	Danehill Mira Adonde
	Imperial Beauty 黒鹿毛 1996	Imperial Ballet Multimara

5代までのインブリード：Northern Dancer S 5×M 5×M 5

INTERVIEW

木村浩崇 厩舎長(ノーザンファーム早来)

チャンスはあると思っていました

大阪・ハンブルクCの後に牧場へ戻ってきたのですが、5月上旬に須貝調教師が馬を見に来た際に、函館記念への出走を目指すことになりました。10日前入厩となったものの、メンバー的に重賞を勝つチャンスはあると思っていました。管理を任された自分たちにとっても嬉しい勝利となりました。レース後は再び牧場へ戻り、札幌記念に向けての調整を行っています。

Y.Maeda



リアルスティールの2世代目の産駒にあたる本馬は昨秋、1勝クラスから3連勝を飾ってオープン入り。1月の日経新春杯では1番人気4着、続く阪神大賞典でも2番人気5着に支持された。長めの距離で実績を積み上げてきただけに、小回りの2000m戦への対応を懸念する声も聞かれたが、新鋭騎手の思い切ったリードに 대응して、むしろ高い適性を証明。重賞初制覇を果たすとともに、今後の選択肢も広げる勝利を掴んだ。

父リアルスティール

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首17戦4勝(ドバイターフ・首^{G1}、毎日王冠^{G2}、共同通信杯^{G3}、皐月賞^{G1}2着、菊花賞^{G1}2着、天皇賞(秋)^{G1}2着、神戸新聞杯^{G2}2着、スプリングS^{G2}2着、ドバイターフ・首^{G1}3着)、19年から日、豪で供用〔代表産駒〕**フォーエバーヤング**(サウジC・沙^{G1}、東京大賞典^{G1}、全日本2歳優駿^{J1}I、ジャパンダートクラシック^{J1}I、UAEダービー・首^{G2}、サウジダービー・沙^{G3}、JBC2歳優駿^{J1}Ⅲ、ケンタッキーダービー・米^{G1}3着、BCクラシック・米^{G1}3着、ドバイワールドC・首^{G1}3着)、**レーベンスティール**(オールカマー^{GⅡ}、セントライト記念^{GⅡ}、エプソムC^{GⅢ})、**チカッパ**(東京盃^{J1}Ⅱ、北海道スプリントC^{J1}Ⅲ、JBCスプリント^{J1}I2着)、**オールバルフェ**(ディリー杯2歳S^{GⅡ})、**カナルビーグル**(ユニコーンS^{GⅢ})、**ヴェローチェエラ**(本馬)、**ヴィンセンシオ**(弥生賞ディーブインパクト記念^{GⅡ}2着)、**ノイジーボーイ**Noisy Boy(タロクS・豪^{G2}2着)、**アレンジャー**(アーリントンC^{GⅡ}2着)、**ティラトルレ**(フレアリース^{GⅢ}2着)、**ドナベティ**(ファンタジーS^{GⅢ}2着)、**タイセイブランセス**(フローラS^{GⅢ}3着)

母イブスウィッチIRE

仏11戦2勝(ヴィシー大賞^{G3}2着、ラクープ^{G3}2着、ジャクエラフィッテ賞・L3着)、14年輸入

パンドラ(16 牝父ハーツクライ)中央6戦0勝

マルボルク(17 牝父オルフェヴール)中央3戦0勝

アゼルスタン(18 牝父ドゥラメンテ)中央5戦1勝

マディストホープ(19 牝父ハーツクライ)

オックスリッパ(20 牝父サトノダイヤモンド)中央19戦3勝

ヴェローチェエラ 本馬(21 牝父リアルスティール)中央11戦5勝(函館記念^{GⅢ}、比叡S、ルツ特別、京都湖間杯^{GⅢ}3着)獲得総賞金127,339,000円(22 生後直死)

ヒズマスターピース(23 牝父スクリーンヒーロー)

(24 牝父ステルヴィオ)

(25 牝父モーリス)

祖母インペリアルビューティー Imperial Beauty

アメリカ産 仏、英4勝(アペイドロンシャン賞・仏^{G1}、ヨークサマーS・英L、ドバイワールドトロフィー・英L、アペイドロンシャン賞・仏^{G1}2着、チヴァリーパークS・英^{G1}2着、キングジョージS・英^{G3}2着)、**ピュアリーアトミック**Purely Atomic(イーストケープパドックS・阿L)、**ドバイフォーカス**Dubai Focus(チェアマンズS・豪^{G3}3着)の祖母

歴史的なレコード決着と高配当に沸く

6週間の日程で実施される函館開催の3週目に組まれた今年の函館記念は、歴史的なレコード決着と記録的な波乱に沸いた。1988年にサッカードビーが樹立して以来、昭和、平成を通じて破られなかったコース及びレースレコードを、10番人気の伏兵ヴェローチェエラが37年ぶりに更新して快勝。2着には6番人気のハヤテノフクノスケ、3着にも14番人気のマイネルメモリーが食い込んだ結果、3連単はレース史上3位の高配当69万7990円が飛び出した。

1番人気の支持を集めたディマイザキッドの単勝オッズ(6・5倍)が物語るように、例年以上の混戦ムードが立

ち込めたレースを先導したのは昨年の3着馬アウスヴァール。とはいえず番手以下にフレッシュャーをかけられてベイスを落とせず、前半1000mの通過は58秒1と厳しい逃げを余儀なくされる。2番人気の支持を集めた阪神大賞典の2着馬マコトヴェリキーは4番手の外を追走。3番人気の中山金杯2着馬マイネルモントは中団のインディマイザキッドは後方2番手で末脚を温存した。

対して中団の外を進んでいたヴェローチェエラの佐々木大輔騎手は3コーナーから一気にスパート。馬群の外をまくり上げて前に迫り、直線入口では早くも先頭に躍り出る。スピードに乗ったヴェローチェエラの脚勢は陰らず、ラスト100mも11秒6でフィニッシュ。好位から差を詰めてきたハヤテノフクノスケ以下の反撃を完封し、ゴールに飛び込んだ。